

令和3年9月3日

国土政策局広域地方政策課

## 令和3年度 第3回 官民連携基盤整備推進調査費の配分を実施します

～民間と自治体が連携して取り組むインフラ施設の調査・検討を支援～

国土交通省は、「官民連携基盤整備推進調査費」の令和3年度 第3回配分として、別添1のとおり、地方公共団体が実施する4件の調査（道路・公園・市街地整備の事業化検討）の支援を決定しました。

本事業は、民間の設備投資等と一体的に計画される地方公共団体のインフラ整備（道路・河川・都市公園・市街地整備・港湾・空港等）の事業化検討を支援するための制度です。

（配分先：地方公共団体、補助率：1/2）

### 【添付資料】

- ・別添1 令和3年度第3回実施事業一覧
- ・別添2 令和3年度第3回実施事業概要
- ・別添3 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

### 【その他】

- ・募集情報や過去の実施例等は以下をご覧ください。

国土交通省 HP 「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」

(<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>)

### 【問合せ先】

国土政策局広域地方政策課調整室

専門調査官 長谷川、城間

主査 森倉、中川

代表：03-5253-8111（内線 29-914、29-916、29-924、29-926）

直通：03-5253-8360

FAX：03-5253-1572

令和3年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業 第3回実施事業一覧

別添1

調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
				事業費	国費
1 白石市における道の駅と公園の一体的整備による観光・産業・防災拠点形成のための基盤整備検討調査	白石市	宮城県白石市	中心市街地と西部エリアに豊富な観光資源を有し、令和2年10月に（仮称）白石中央スマートインターチェンジ（SIC）の事業化が決定した白石市において、観光産業の活性化やそれに伴う雇用の創出、市の防災力の強化のため、土地開発公社による工業団地の整備と合わせて、SICを活用した観光・防災拠点としての道の駅と公園の整備を行うにあたり、道の駅及び公園の概略設計やPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	45,000	22,500
2 遊佐町における道の駅移転整備に係る基盤整備検討調査	遊佐町	山形県遊佐町	鳥海山など自然豊かな遊佐町において、日本海沿岸東北自動車道のICから離れている既存の道の駅の移転及び機能の充実のため、民間事業者による物販施設の整備、お土産品の開発や観光ツアーの実施と合わせて、道の駅の概略設計やPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,000	10,000
3 江戸川台駅東口周辺地区における賑わい・魅力創出のための基盤整備検討調査	流山市	千葉県流山市	自家用車等の利用が増加したことで、通勤通学時間帯に交通渋滞が発生し、また、駅前商店街等の施設老朽化や住民の高齢化が進行している東武アーバンパークライン江戸川台駅東口周辺地区において、鉄道・バスの交通結節点としての江戸川台駅東口駅前広場の機能強化と利便性向上及び同地区における賑わい・魅力創出を図るため、バス事業者2社によるバス停留所の移設や駅前商店街による複合ビルを含めた商店街店舗の再配置等と合わせて、駅前広場の再整備に係る概略設計やPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	22,000	11,000
4 芝山町における田園型居住地創出拠点整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	芝山町	千葉県芝山町	第3滑走路の整備を開始した成田空港に隣接し、周辺では圏央道の整備も進んでいる芝山町において、それらの整備効果を町内の観光振興や住宅地形成に波及させるため、民間事業者による二地域居住に資する住宅地の整備や農業体験活動と合わせて、道路及び公園等の概略設計やPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	19,600	9,800
計4箇所				106,600	53,300

# 白石市における道の駅と公園の一体的整備による観光・産業・防災拠点形成のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 白石市は「南東北のへそ」、「県南の玄関口」に位置し、「白石城」「伝統食白石温麺を味わえる飲食店」等の観光施設や、インバウンド観光客に人気の高い「宮城蔵王きつね村」「材木岩公園」等、中心市街地と西部エリアに豊富な観光資源を有している。
- 令和2年10月には(仮称)白石中央スマートインターチェンジ(SIC)の事業化が決定した。
- 同事業では、市の中心市街地や西部エリア、国道113号沿線のアクセス性が向上することから、新たな周遊観光ルートの形成による観光産業の活性化や賑わいの創出、交流人口の拡大が期待されている。
- また、SICの事業化に伴い、SIC周辺に工業団地の造成が予定されており、観光・産業振興と市の防災力の強化のため、市の総合計画において、SIC周辺における観光・防災拠点としての道の駅を位置付けたところである。

【調査箇所：宮城県白石市】  
位置図



**(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）**

- ・令和2年10月に(仮称)白石中央SICの事業化
- ・令和3年4月に第六次白石市総合計画にSIC周辺への道の駅整備を位置づけ
- ・令和3年9月に道の駅、スポーツ・レクリエーション拠点を有する公園、工業団地を含めたSIC周辺整備基本計画を策定予定

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- ・PPP/PFI事業者による、道の駅及びスポーツ・レクリエーション拠点を有する公園の一体的な整備運営（令和6年度～）
- ・土地開発公社による工業団地の整備（令和6年度～）

密接な  
関連性

**(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）**

- ・観光産業の活性化やそれに伴う雇用の創出、市の防災力の強化のため、SICを活用した、観光・防災拠点としての道の駅と公園の整備が必要

**(4) 【調査内容】**

- ①道の駅及び公園の整備に係る地形・地質の調査
- ②道の駅及び公園の概略設計
- ③道の駅及び公園の整備効果の検討
- ④道の駅及び公園の一体的な整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- ・工業団地との一体的な整備による道の駅及び公園のスポーツ・レクリエーション拠点の入込客数の拡大
- ・工業団地の付加価値向上による企業進出の促進



# 遊佐町における道の駅移転整備に係る基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 遊佐町は、山形県の最北部に位置し、町のシンボルである鳥海山をはじめ風光明媚な自然が豊富に残されており、平成28年には鳥海山・飛島ジオパークが日本ジオパークとして認定を受けている。
- 本町の国道7号線沿いにある道の駅「鳥海」は、広く全国から安定した集客（毎年200万人以上）を誇っており、平成26年には第1回東北道の駅好事例大賞を受賞している。
- 一方、令和8年度に日本海沿岸東北自動車道の山形・秋田県境区間が全線供用となることに伴い、国道7号線の交通の大部分が日沿道に転換することが想定されることから、道の駅を日沿道沿いに移転することで、ゲートウェイとしての新たな広域観光拠点としての活躍が期待される。

### 【調査箇所：山形県遊佐町】



**(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）**  
 平成28年3月…道の駅の移転を謳った遊佐パーキングエリアタウン基本計画を公表。  
 令和2年2月…日沿道山形・秋田県境区間の開通見込み公表。  
 令和3年6月…道の駅整備に係る遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会の設置。

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- ・ PPP/PFI事業者による道の駅の運営（令和8年～）
- ・ 地域商社等による地場製品の販売拡大やお土産品の開発・販売（令和8年～）
- ・ 観光協会等による観光案内所の設置、町内観光ツアーの実施（令和8年～）

密接な関連性

**(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）**

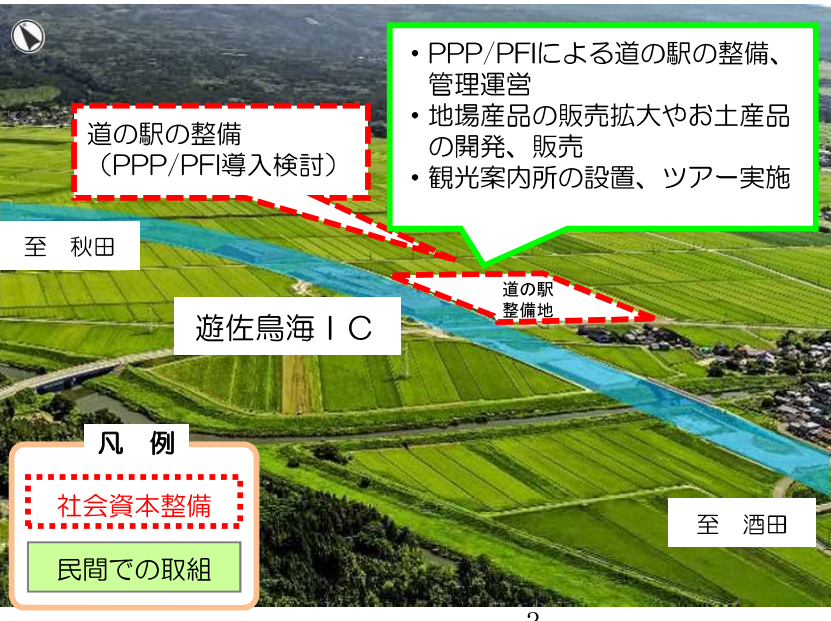
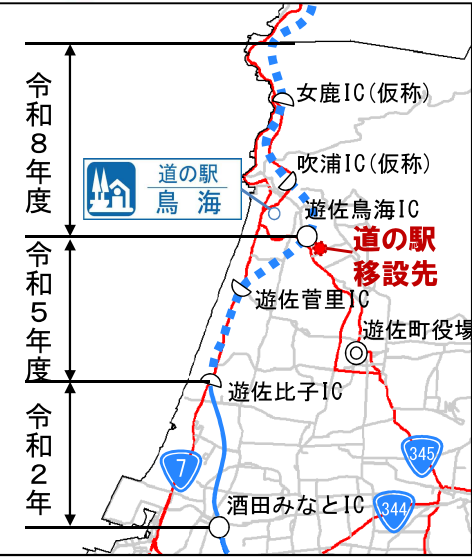
- ・ 遊佐町が単なる通過点とならないように、日沿道のICから離れている既存道の駅について、移転と機能の更なる充実が必要である。

**(4) 【調査内容】**

- ①道の駅整備に係る需要予測、概略設計等
- ②道の駅整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- ・ 道の駅移転と民間事業者が行うサービス向上により、道の駅利用者・売上の向上。
- ・ 町への来訪者が増加し、地域経済の活性化に繋がる。



# 江戸川台駅東口周辺地区における賑わい・魅力創出のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 流山市北部に位置する東武アーバンパークライン江戸川台駅東口周辺地区は、昭和30年代に開発された閑静な住宅街である。
- 本地区では、周辺住民の高齢化が進行しており、また、本地区の鉄道・バスの交通結節点となる東武アーバンパークライン「江戸川台駅」東口については、平成13年の駅前広場の整備から約20年が経過し、駅の利用形態が変わり、大型バスや自家用車等の利用が増加し朝夕の通勤時間帯に交通渋滞が発生している。
- 駅前広場から北東に延びる江戸川台駅前商店街については、周辺住民の高齢化や建物の老朽化により賑わいが失われ、店舗の再配置等による賑わい・魅力創出が求められている。

ながれやま

【調査箇所：千葉県流山市】

位置図

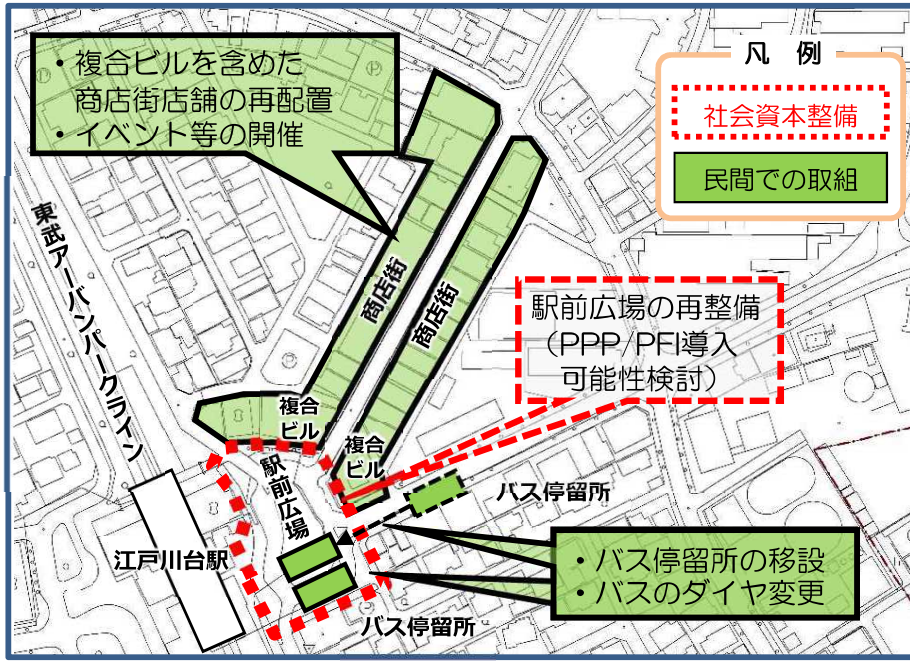


**(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）**

- 近年、江戸川台駅東口での大型バスや自家用車などの利用が増加し、朝夕の通勤通学時間帯に交通渋滞が発生
- 江戸川台駅東口駅前広場が狭小なため京成バス停留所が広場内に設けられず、広場外の車道に設置せざるを得ない状況
- 駅前商店街等の施設老朽化や周辺住民の高齢化が進行
- 令和2年4月に流山市都市計画マスタープランで江戸川台駅前広場の再整備等による駅周辺の活性化を位置づけ

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- ・バス事業者2社によるバス停留所の移設、バスのダイヤ変更（令和7年度予定）
- ・駅前商店街による複合ビルを含めた商店街店舗の再配置（令和7年度予定）
- ・駅前商店街、地元自治会等によるイベント等の開催（令和7年度予定）



**(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）**

- ・鉄道・バスの交通結節点としての機能強化と利便性向上を図るため、自動車の利用実態に合わせた、交通渋滞の解消に資する駅前広場の再整備が必要
- ・江戸川台駅東口周辺地区における賑わい・魅力創出のため、地元民間事業者や市民のニーズを踏まえた、歩行者にとっても回遊しやすい駅前広場の再整備が必要

**(4) 【調査内容】**

- ① 駅前広場の再整備に係る駅前広場の利用実態等の調査
- ② 駅前広場の再整備に係る地形、地質等のデータ収集に係る調査
- ③ 駅前広場の概略設計
- ④ 駅前広場の再整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

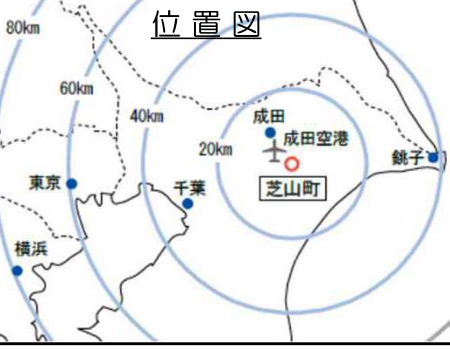
- ・バス停留所の移設等と一体的に行うことにより、交通結節点としての機能が強化され利便性が向上
- ・商店街の再配置との相乗効果で駅前空間の価値・魅力が向上

# 芝山町における田園型居住地創出拠点整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- ・当町は千葉県北東部に位置し、隣接する成田空港では第3滑走路の新設が開始し、また周辺では圏央道大栄JCT～松尾横芝IC間の整備が進んでいる。
- ・町としては、この機会を町発展のチャンスと捉え、より快適なまちづくりを実現し、持続可能なまちづくりを推進していく方針。
- ・本地区においては、新たな観光施設や住宅地整備等を図ることで、広域的な観光振興及び地域活性化に資する拠点の創出を目指している。

### 【調査箇所：千葉県芝山町】



### (1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)

- ・平成30年3月 成田空港の機能強化にあわせた地域づくりの基本的な方向性や内容を掲げた「基本プラン」を四者（国・千葉県・成田空港周辺9市町・成田国際空港株）で決定
- ・令和元年12月 「芝山町都市計画マスタープラン」策定
- ・令和2年 3月 基本プランに基づき、具体的な施策を盛り込んだ「実施プラン」を四者で策定
- ・令和3年7月 民間事業パートナー選定

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・デベロッパー、DMO、振興協会による農業体験活動の実施（令和7年度～予定）
- ・デベロッパー、DMO、振興協会による農泊推進事業の実施（令和7年度～予定）
- ・デベロッパーによる二地域居住等に資する住宅の整備（令和6年度～予定）

密接な  
関連性

### 芝山町田園型居住地創出拠点



### (3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)

- ・高速道路開通・空港拡張の効果を町内に波及させるのに必要な観光振興や住宅地形成のための都市基盤が整備されていない

### (4) 【調査内容】

- ①道路・公園等の基本的仕様の検討
- ②道路・公園等の概略設計及び概算事業費算出
- ③公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・気軽に農業を楽しみ、学べる環境を兼ね備えた観光振興に資する良好な住環境の創出
- ・就農者を育てることより、持続可能なまちづくりが期待

# 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

別添3

## 事業概要

- 各地域の個性や強みを活かした特色ある成長を図るためには、民間の投資効果が最大限に引き出されるよう、民間の設備投資等と一体的に基盤整備を実施することが重要である。
- 官民が連携して実施する民間投資誘発効果の高い基盤整備や広域的な地域戦略に資する事業について、民間の意思決定のタイミングに合わせ、機を逸することなく基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑かつ速やかな移行を図るため、地方公共団体が行う事業化検討に対して調査費補助を行う。

## 事業内容

【配分先】地方公共団体(都道府県・市町村等)

【補助率】1/2

【募集・配分スケジュール】年3回配分

区分	募集期間	配分時期
第1回	1月25日～2月19日	4月27日
第2回	2月26日～4月16日	6月30日
第3回	6月11日～7月9日	9月3日

### 【支援内容】

民間事業活動と一体的に行うことにより、優れた効果の発現や効率性が期待できる国土交通省所管の基盤整備※の事業化に向けた検討経費を支援

#### <調査内容>

- ① 施設整備の内容に関する調査  
(例) 基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等
  - ② ①で調査した施設の整備・運営手法に関する調査  
(例) PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFM算定等
- ※ 道路、海岸、河川、港湾、都市公園、市街地整備、空港等の公共土木施設

## 事業フロー

